資料３－４

令和７年度高輪地区高齢者相談センター

事業評価チェックシート

【事業計画・報告に掲げる大項目】

１　設置目的達成に向けた取組

２　介護予防ケアマネジメント

３　総合相談支援

４　権利擁護業務

５　包括的・継続的ケアマネジメント

６　その他の事業

７　運営体制

○このチェックシートは、高齢者相談センター（地域包括支援センター）が、センターの基本的な業務について、センターがセルフチェックすることで日常的に業務の実施状況を点検するとともに、年度末における点検結果を地域包括支援センター運営協議会における事業評価に反映するものです。

○高齢者相談センターは、各チェック項目ごとの実施状況に応じた選択肢を記入してください。

ａ：適切にできている
ｂ：概ねできている
ｃ：できていない（実施していない）

○評価欄は、事務局がチェックシート等を元にした各センターへのヒアリングを実施後、記入します。
（Ｓ、Ａ、Ｂ、Ｃの４段階評価）

※事業評価チェックシートの評価は、事業評価コメントシート（様式２）における評価のベースとします。

港　　区

（様式１）

令和７年度高輪地区高齢者相談センター事業評価チェックシート

チェック項目		高齢者相談センター記入欄		事務局記入欄
１．設置目的達成に向けた取組		（選択肢）	記入欄	評　価
地域の特性に合わせた現状分析・課題分析が適切に行なわれている		a ・ b ・ c	a	A
当初の計画に沿って取組みが実施されている		a ・ b ・ c	a	
当該年度の業務における課題が明らかになっている		a ・ b ・ c	a	
職員全員が課題の内容を理解し、一丸となって取り組んでいる		a ・ b ・ c	a	

２．介護予防ケアマネジメント		（選択肢）	記入欄	評　価
要支援１・２	利用者に十分な説明を行い、適切なアセスメントに基づいたケアプランの作成が行われている	a ・ b ・ c	a	A
	必要なモニタリングと評価ができている	a ・ b ・ c	a	
	ケアプランの質を向上させる体制を整備し、職員の実務にいかせる取組みを行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防支援業務における利用サービス事業所及び委託する居宅介護支援事業所の選定は適切に行っている	a ・ b ・ c	a	
	委託した介護予防サービス計画の内容を確認し、適宜、委託先の居宅介護支援事業所の支援を行っている	a ・ b ・ c	a	
介護予防	対象者の状態を的確に把握し、適切なケアマネジメントの目標設定ができている	a ・ b ・ c	a	
	事業実施者と連携し、適切なモニタリングや評価ができている	a ・ b ・ c	a	
	評価が困難な事例等について情報収集・共有し、ケアマネジメントを行っている	a ・ b ・ c	a	
	介護予防の必要性など、普及啓発を日常的に行っている	a ・ b ・ c	a	

3．総合相談支援	（選択肢）	記入欄	評　価
高齢者のあらゆる相談を受け入れられる体制が整っている	a ・ b ・ c	a	A
個別訪問等により、地域の高齢者の状況把握を行っている	a ・ b ・ c	a	
困難事例の対応への手続きや流れを職員全員が理解し適切に対応できる	a ・ b ・ c	a	
地域の社会資源やニーズを把握し、地域のネットワーク構築を行っている	a ・ b ・ c	a	

4．権利擁護業務	（選択肢）	記入欄	評　価
成年後見制度等の利用への支援・啓発を行っている	a ・ b ・ c	a	A
高齢者虐待の通報に対し、適切に対応している	a ・ b ・ c	a	
高齢者の消費生活被害の防止に関する啓発等を行っている	a ・ b ・ c	a	

5．包括的・継続的ケアマネジメント	（選択肢）	記入欄	評　価
包括的・継続的ケアマネジメントの体制を構築し、関係機関と連携して対応している	a ・ b ・ c	a	A
地区内の介護支援専門員（居宅介護支援事業所）を把握し、ネットワークの構築を図っている	a ・ b ・ c	a	
介護支援専門員を対象とした研修や事例検討会を実施するなど、支援体制を構築している	a ・ b ・ c	a	

6．その他の事業	（選択肢）	記入欄	評　価
介護予防普及啓発事業を実施している	a ・ b ・ c	a	A
認知症サポーター養成講座を実施している	a ・ b ・ c	a	
港区独自事業の実施にあたっては、関係部署と連携して実施している	a ・ b ・ c	a	
港区が実施する事業等へ、関係機関と連携して実施している	a ・ b ・ c	a	
認知症予防の啓発及び認知症高齢者への対応を行っている	a ・ b ・ c	a	

7．運営体制		（選択肢）	記入欄	評　価
人員配置	地域包括支援センターとして、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	S
	指定介護予防支援事業所として、専門職種が適正に配置されている	a ・ b ・ c	a	
体制	各職種の専門性を活かした、チームアプローチの体制ができている	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が日頃の業務内容を網羅的に把握している	a ・ b ・ c	a	
	センター長及び管理者が業務評価（セルフモニタリング）を定期的に行っている	a ・ b ・ c	a	
	センター内での会議、ミーティング等を通じて職員間の情報の共有ができている	a ・ b ・ c	a	
	職員がセンターの設置目的、区立施設（指定管理制度）であることを正しく理解している	a ・ b ・ c	a	
	職員の研修履歴や年間の研修計画を作成するなど、職員が計画的に研修参加できるよう配慮している	a ・ b ・ c	a	
	日常業務における課題や反省点等を共有し、センター業務の改善につなげている	a ・ b ・ c	a	
	緊急時対応マニュアル等を整備し、緊急時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	災害時対応マニュアル等を整備し、災害時に迅速かつ的確な対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	震災等の発生を想定した「業務継続計画」を策定している	a ・ b ・ c	a	
	苦情解決についてのマニュアル等を整備し、的確な苦情対応が行える体制を整備している	a ・ b ・ c	a	
	職員が個人情報保護に関係する法令等を理解し、遵守している	a ・ b ・ c	a	
	相談時に相談者のプライバシーを確保している	a ・ b ・ c	a	
	特定の団体等に有利又は不利にならないよう、中立かつ公平な運営がなされている	a ・ b ・ c	a	
施設運営	物品管理責任者を定め、区から貸与されている備品を把握し、適切に管理している	a ・ b ・ c	a	
	施設及び付帯設備を常に良好な状態で維持及び保全並びに保守管理を行っている	a ・ b ・ c	a	
	水道、電気等の使用について、エネルギー使用量を把握し、施設の省エネルギー化に取り組んでいる	a ・ b ・ c	a	
	指定管理料や利用料金等、日常から適切な会計処理が行なわれている	a ・ b ・ c	a	
	指定管理業務の経費にかかる関係書類を適切に保管している	a ・ b ・ c	a	
	労働関係法令や就業規則に則り適切な運営が行なわれている	a ・ b ・ c	a	

令和７年度高輪地区高齢者相談センター　事業評価コメントシート

高齢者相談センター記入欄				運営協議会　記入欄	
項 目		（１）今年度の取組のプロセスについて、良かった点や工夫した点等を記入してください。	（２）次年度への課題を記入してください。	評　価	コメント
1	設置目的達成に対する取組	・区施設併設の中、感染対策を継続し、アウトリーチやつなぎ直し支援を強化し、薬剤師会登録事業所や郵便局への挨拶を実施しました。 ・地区地域ケア会議を年5回開催し、関係機関と課題検討や意見交換を通じ、地域情報の共有と課題把握を継続しました。 ・認知症支援コーディネーターを中心にケアパス普及や家族支援を進めるとともに、若年性認知症の個別カンファレンスを開催し、支援体制整備に努めました。	・複合的課題や制度の狭間に対応できるよう、高齢分野以外の関係機関との連携を強化し、包括的相談支援体制の構築を推進します。 ・認知症支援コーディネーターを中心に、本人・家族への支援及び普及啓発を継続し、地域の認知症支援体制の充実を図ります。	A	地区地域ケア会議の継続開催や関係機関との連携を通じ、地域課題の把握及び対応が着実に実施しました。認知症支援コーディネーターを中心に、若年性認知症への対応も含めた支援体制の整備が図られている点を評価しています。
2	介護予防ケアマネジメント	・予防プラン4,154件を作成し、居宅介護支援事業所と連携し適切なケアマネジメントを実施しました。 ・いきプラザ5か所で測定会・オレンジカフェを開催し、元気塾新規42件と事業参加につなげました。 ・男性の社会参加促進として、介護予防リーダーと協働し「ダーツの会」を継続開催しました。	・自立支援・重度化予防を軸にケアマネジメントの質を高め、居宅介護支援事業所との連携強化を図ります。 ・住民主体の介護予防を推進するため、測定会の充実と関係機関との協働体制の強化に取り組みます。 ・元気塾等の周知を強化し、早期参加につなげる仕組みづくりと継続的な参加を促進します。	A	予防プラン作成に加え、介護予防測定会やオレンジカフェの開催により介護予防事業への参加機会の確保が図られています。関係事業所との連携のもと適切なケアマネジメントを実施しており、地域における介護予防の推進に資する取組をしています。
3	総合相談支援	・総合相談13,872件に対応（入力方法変更により前年度減）し、窓口2名体制で迅速に相談対応しました。 ・支所と連携し困難ケースや安否確認に対応するとともに、対象者名簿の作成・見直しを含む更新を行い、月1回の会議で情報共有の強化を図りました。 ・ふれあい相談員や関係機関と連携し、ICT活用による所内共有を進め相談支援体制を構築しました。	・相談記録の標準化と分析を徹底し、地域課題を事業計画へ的確に反映させる体制強化をします。 ・多様な媒体を活用した相談先の周知を進め、認知度向上と早期相談につながる仕組みづくりを進めます。 ・重層的支援の適切な活用とチームアプローチの深化により、困難・緊急ケース対応力の向上を図ります。	A	複数職員体制による迅速な相談対応に加え、関係機関と連携した困難事例対応が実施しました。ICT活用や定期的な情報共有により組織的な対応力の向上が図られており、安定した相談支援体制が確保されています。
4	権利擁護業務	・虐待通報15件（前年度比15件減、内訳：事業所10件・警察4件・センター1件）に対し、所内2名体制で迅速に支所と連携し対応しました。 ・成年後見制度等の支援を20件実施し、社会福祉協議会と協働し同行訪問や書類作成支援を行いました。 ・警察や医療機関等と連携し、消費者被害対策講座・介護離職講座・ＡCP講座を通じた普及啓発を実施しました。	・高齢者虐待対応は件数が減少しましたが、対応継続中のケースも多いため、引き続き、高輪地区総合支所を中心に関係機関と連携を図りながら対応します。 ・区民講座は、普及啓発を中心に取り組み、多くの方が興味をもって参加できるよう企画立案します。	A	虐待対応や成年後見制度の利用支援について、関係機関と連携した適切な対応が行われました。また、講座等を通じた普及啓発にも取り組み、実務対応と予防的取組の両面から権利擁護体制の充実に寄与しています。
5	包括的・継続的ケアマネジメント	・地域のケアマネ支援を目的としたネットワーク「つながり隊」を継続的に実施し、災害や福祉避難所、大学連携等を通じて、地域との連携を推進しました。 ・けあまねサロンを年2回開催し、ケアマネジャーのスキル向上・資質向上を図りました。 ・居宅訪問による課題抽出を踏まえ、地域ケア会議を年5回開催し、支援体制強化につなげました。	・多様な資源とつながる取組を継続し、居宅支援事業所との連携強化と関係構築を深めます。 ・ケアマネジャーの資質向上と多職種連携の実効性を高めるため、研修・事例検討を開催します。 ・地域課題の抽出から地域ケア会議への反映までの仕組みを強化し、課題対応力向上を目指します。	A	ケアマネジャー支援や関係機関連携に継続的に取り組み、地域ケア会議を通じた課題抽出及び対応強化が図りました。各種取組により、包括的かつ継続的なケアマネジメント体制の構築が着実に進めています。
6	その他の事業	・認知症予防講座やサポーター養成（年8回330名）を実施し、普及啓発しました。また、「認知症声かけ訓練」を関係事業所と連携して実施し、地域全体の見守り力向上に資する取組を行いました。 ・オレンジカフェや本人ミーティング開催で、本人・家族支援を充実させました。 ・多職種交流会（年2回）や病院との連携で、関係機関の連携強化に努めました。	・認知症支援の普及啓発と本人発信支援の充実を図るとともに、地域全体の対応力を高めます。 ・多職種連携の深化と医療介護連携の強化により、切れ目のない支援体制を構築します。	A	本事業では、普及啓発や見守り力向上、本人・家族支援、関係機関連携まで一体的に取組が進めました。多面的施策により地域の認知症支援体制の強化が図られ、継続的な支援に期待しています。
7	運営体制	・指定管理事業者として法令等に基づき公正・中立な事業運営を実施しました。 ・研修受講133件や所内会議等により職員の資質向上と情報共有を図りました。 ・ICT活用により業務の可視化・効率化を進め、連携体制を強化しました。 ・施設内や法人内の勉強会、区・都の研修に参加し資質向上に努めたほか、朝夕礼や施設内会議、職種別・チーム研修を通じて職員間の情報共有と意見交換を進め、スキル向上を図りました。	・職員・関係機関の人材育成を強化し、組織的な支援の質向上と定着につなげる取組を進めます。 ・関係機関との連携強化により見守り体制の実効性を高め、切れ目のない支援体制を構築します。 ・情報共有の見える化と業務効率化を進め、チームアプローチ推進とケース対応力向上を図ります。	S	法令を踏まえた公正・中立な運営が行われ、特に施設内外の研修や勉強会、朝夕礼や会議、職種別・チーム研修を通じた継続的な情報共有と意見交換の取組により、職員全体のスキル向上と組織力の強化が着実に図られています。
8	その他	・サロン訪問等により地域活動を推進するとともに、施設との連携強化に取り組みました。 ・法人事業部の支援により職種別研修や委員会活動を実施し、人材育成と定着支援を推進しました。 ・所内外での研修により職員の資質向上を図り、複合的課題に対応できる体制整備を進めました。 ・高齢者以外の分野の関係機関とも連携し、包括的支援体制強化に取り組みました。			地域活動参加や関係機関との連携により、地域との関係構築を図りました。また、法人内研修活用による人材育成に取り組み、包括的支援体制の基盤整備が着実に進みました。